学校関係者評価委員会
委員長　中島　安敬

学校関係者評価報告書(令和 6 年度)

令和 6 年度の学校評価委員会を開催し、「ＫＣＳ鹿児島情報専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日　　令和 7 年 3 月 15 日（土）
学校関係者評価委員‥‥6 名
　学識経験者 1 名，企業関係者 1 名，高校関係者 1 名
　地域住民代表 1 名，卒業生代表 1 名，保護者代表 1 名

評価コメント

評価	評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標 ・令和 6 年度に理事長が変わったが、教育理念はぶれることなく堅持されており、教育理念・人材評価目標を実現するために、教育課程を改善する仕組みが確立している。 ・教育課程は、学園のカリキュラム検討委員会が作成したモデルを基本としつつ、教育課程編成会議における地元 IT 企業の委員の意見を踏まえたものになっている。	・特になし
(2)学校運営 ・学園グループ 10 校が共通した意思決定を行うことで、学校単独の偏った意思決定を先、時代に即した意思決定を行ったうえで、地域性を考慮した学校運営を行った。 ・私立学校法の改正により令和 7 年 4 月より学校法人電子開発学園九州は大学と同等の運営管理・情報公開を行う「大臣所轄学校法人等」に位置付けられ、ガバナンスの強化が求められる。 ・学校教育法の改正により令和 8 年度の入学生から単位制に移行するため、学校法人全体で単位制準備委員会を設置し、単位制移行に向けた準備活動に取り組んでいる。	

評価	評価に係る提言・改善等
・昨年度に引き続き今年度も入学者数、在籍者数ともに過去最高である。 ・営繕については１Ｆ外構工事、本館 LED 改修工事、4F トイレ改修など計画通りに行い、学習環境を整備した。	・人口減少が続く中、入学者数、在籍者数が増え続けているということは、KCS の教育内容が認められている証左である。
(3)教育活動 ・教育内容の評価改善活動の一環で、学生から科目の終了時にアンケートを収集し、アンケートの結果や科目試験の結果に基づいた報告書の作成、報告会を実施し、授業の評価、改善に繋げる活動を続けている。 ・情報システム専門科については、提携企業講師による実践型授業を取り入れ、学生主体の授業を行い、学生からも高い評価を得ている。 ・九州 4 校で東京ゲームショウに作品出展を行った。多く企業様や一般来場者にプレイしていただいた。企業様からは作品に対するアドバイスを頂くとともに、多くの求人も頂いた。 ・学年を超えた関係づくりを目的としたクラブ活動に取り組み、鹿児島県専修学校体育大会や九州ブロック大会にて好成績を収めた。	・他学科でも実践型授業を増やすように取り組むこと。 ・学生の熱量や制作意欲を引き出すことに有効であると思う。引き続き取り組んでもらいたい。 ・学業以外でも学生が学校に行くことが楽しくなるような活動を増やしてほしい。
(4)学修成果 ・退学防止に向け担任の個別対応だけでなく、体制を作りチームで取り組んでいる。不登校歴がある学生については基礎学力が高いものでも些細なことで不登校が再発するなど見られた。 ・国家試験では難関資格において九州トップの合格者数を出すことができた。とは言え、国家試験は難易度が高く、誰もが合格できるという試験ではないため、学生の状況に合わせてその他の資格試験にチャレンジさせ、何らかの資格を取得させることを目標としている。 ・就職希望者全員が内定を取ることができた。	・学生指導のために担任の負担が大きくなっていることは理解するが、できる限りのことはしてほしい。 ・国家試験の合格実績は素晴らしく、授業品質の高さを証明するものである。今後も維持してもらいたい。

評価	評価に係る提言・改善等
・県内就職率が高くなるように、県内企業に採用時期について働きかけ、昨年度と比較して県内就職率が高くなった。	・県内に学生が就職することで地元の活性化につながるため、引き続き県内企業への就職者が増えるような取り組みをしてほしい。
(5)学生支援 ・学校だけではなく、保護者と連携して指導している。 ・奨学金制度や修学支援新制度についても、周知を徹底し、利用すべき学生が利用しない状況がないようにしている。	・学習意欲のある学生が経済的理由で退学とならないように、制度について引き続き周知を徹底してほしい。
(6)教育環境 ・在籍者数の増加に対応するため、実習室設備を増強した。また設置パソコンの性能強化も行った。 ・学生アンケートで教室温度に関する意見が多かったため、全教室にサーキュレータを導入し、温度ムラを解消した。	・設備が老朽化しないように、計画的に更新をすすめること。
(7)学生の受入れ募集 ・広報活動については、真実性、明瞭性、公平性、法令順守等について十分な配慮を行い、情報提供を行った。 ・入学選考においては面接や適性検査、書類審査を基に厳格な入試を実施した。 ・昨年に引き続き KCS4 校で共同し KCS ブランドを訴求した。 ・在籍者の増加に伴い、効率的なクラス運営及び教室設備の受入れ可能数を考慮し、令和 8 年度生から情報スペシャリスト科(2 年課程)の募集を停止し、大学併修科(4 年課程)の定員を増やす。	・修学支援新制度について、本来高校にて周知すべきものではあるが、KCS で保護者向けに説明会を開催できないか検討してほしい。
(8)財務 ・財務指標(教育活動収支差額、経常収支差額、基本金組入前収支差額)も健全であり、財務基盤は安定している。 ・在籍者数が増加しているが、少子化、4 大志向など専門学校には厳しい時代が続くため、経費削減に引き続き取り組む。	・学生および保護者が安心できるように、安定した財務状況を維持してほしい。

評価	評価に係る提言・改善等
(9)法令等の遵守 ・学園のモットーである職業倫理と Quality First が浸透している。	・特になし

以上